



各位

平成 25 年 4 月 12 日

上場会社名 株式会社 リゾー 教育
 代表者 代表取締役会長兼社長 岩佐 実次
 (コード番号: 4714 東証第一部)
 問合せ先責任者 情報開示担当リーダー 澤井 豊
 情報開示担当リーダー 田中 文明
 (TEL 03-5996-3701)

創業 30 周年中期経営計画に関するお知らせ

当社は、平成 25 年 2 月期(第 28 期)決算を踏まえ、創業 30 周年となる平成 27 年 2 月期(第 30 期)までの創業 30 周年中期経営計画を下記のとおり策定しましたので、お知らせいたします。

記

まずはお陰様をもちまして 28 期連続の増収を達成し、**過去最高の業績を更新**することができました。

ところで第 28 期の売上高は、TOMAS で新しく導入した改訂版映像講座で当初見込んでおりました契約の一部が翌期にずれ込み 29 期の売上となったこと、伸芽会の新規事業「伸芽's クラブ(しんが〜ずくらぶ)」が新規事業たるがゆえに新校開校のスタートが当初計画より遅れたこと等により 28 期計画との差額が出ましたが、**過去最高の業績を更新**することができました。

利益面では売上高の差額分に加え新規事業(伸芽's クラブ・インター TOMAS ・スクール TOMAS)の先行投資(人材募集・育成費、広告宣伝費、出版印刷費、人件費等)を 28 期でほぼ回収できましたが、その先行投資額が予想以上の金額であったため、28 期計画と差額が生じる結果となりました。

第 29 期以降は、既存事業(TOMAS ・伸芽会・名門会)の成長に加え、新規事業の収益貢献が本格的に進むことが予想されるため、以下の通り大幅な売上増・利益増(29 期・30 期)を見込んでおります。なお、M&A の進展によっては、さらに大幅な増収増益を達成できるものと考えております。

また当社は 28 期・29 期と 2 年にわたり**財務基盤の強化**と**自己資本の充実**を進めております。

28 期にドイツ銀行との T I P 契約等による自己株式処分の結果、**約 18 億円の現金化、自己株式処分差益約 3 億円(一部 28 期配当として株主還元)の株主配当の原資となる剰余金への計上**により財務基盤の強化と自己資本の充実を図ることができました。

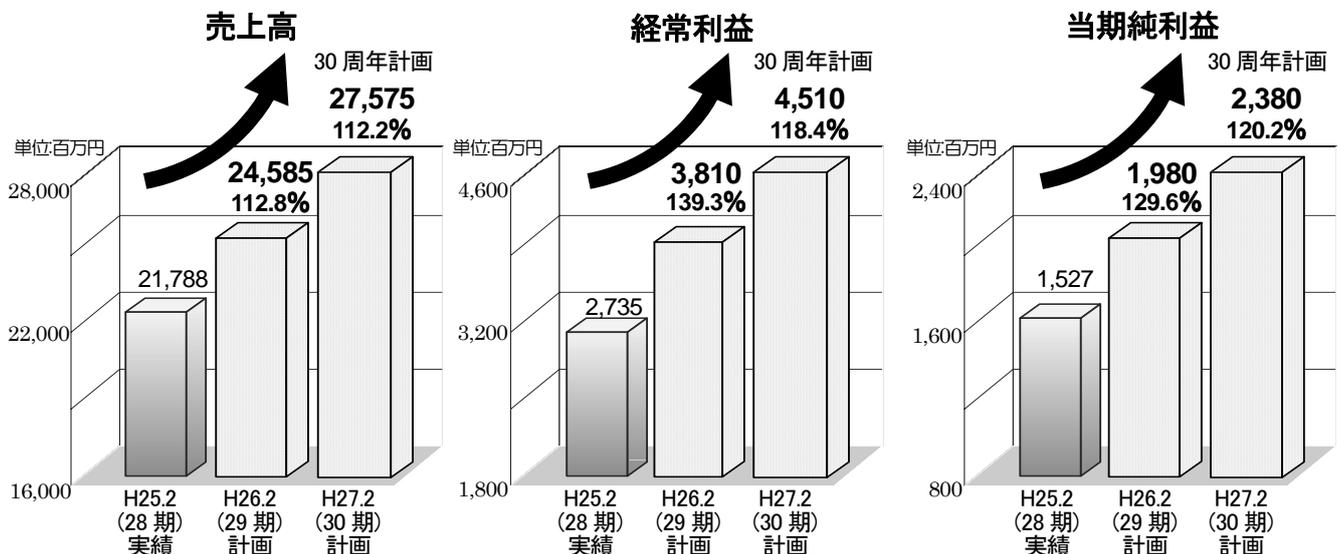
29 期も既に自己株式処分による**約 17 億円の現金化、自己株式処分差益約 6 億円の計上**が済んでおります。さらに 4 月以降も残り 15 万株の自己株式処分による**約 13 億円(予定)の現金化、自己株式処分差益約 6 億円(予定)の計上**を見込んでおりますので、**28 期・29 期トータルで約 48 億円(予定)の現金化、自己株式処分差益約 15 億円(予定)の計上**となる見込みです。

こうした財務基盤強化・自己資本充実策の成果から、配当原資も増加してまいりましたので、期中においてさらなる増配ができるよう邁進する所存です。

<創業 30 周年中期経営計画> (M&A 等の要素は考慮していません)

(単位: 百万円)

	売上高		経常利益		当期純利益	
		前期比		前期比		前期比
平成 25 年 2 月期 (第 28 期) 実績	21,788	108.1%	2,735	98.7%	1,527	118.0%
平成 26 年 2 月期 (第 29 期) 計画	24,585	112.8%	3,810	139.3%	1,980	129.6%
平成 27 年 2 月期 (第 30 期) 計画	27,575	112.2%	4,510	118.4%	2,380	120.2%



以上